

令和6年度

(公社)日本ホッケー協会 U15 カテゴリー一部会



第2回常任委員会議事録

期 日:令和7年2月23日(日) 9時30分～15時30分

会 場:YIC 京都工科自動車大学校 TEL075-371-4055

京都市下京区油小路通塩小路下ル西油小路町 27

参加者 (敬称略)

会 長:山田 茂晴 (富山県:蟹谷中学校校長)

副 会 長:式 貴志 (香川県:香川県ホッケー協会会長)

顧 問:馬場 治男 (埼玉県:飯能市教育委員会)

事務局長:久保 克敏 (京都府:蒲生野中学校)

事 務 局:徳光 寿 (山口県:末武中学校)

競 技 部:鈴木 良子 (兵庫県:丹南中学校)

審 判 部:尾木 典隆 (奈良県:桜井西中学校)

常任委員:曾根原龍太 (東北)、佐々木亮太 (関東)、松本 大輔 (北信越)、藤原 信幸 (東海)

山田 享平 (近畿)、道端 良之 (中国)、川原 篤 (四国)、石井 幸美 (九州)

U15 海外遠征事務局:幸田 伸也 (奈良県:郡山南中学校)

常任委員会

・ 構成員: 17名

・ 出席者: 16名

規約第6章第19条に
則り本会は成立

令和7年度全中大会男子事務局:川原 篤 (香川県)

令和7年度全中大会女子事務局:吉岡 昭嘉 (愛媛県)

令和6年度全中大会 ATD:菊池玲子

文責:徳光 寿 (事務局)

1 開 会

2 あいさつ

会に先立ち、U15 カテゴリー一部会会長山田茂晴 (富山県蟹谷中学校校長) 様からご挨拶をいただく。今年度最後の会議となり、今年度の反省を生かし、来年度の事業に活かせられるよう協議していきただきたいとご挨拶いただく。

3 協議事項

- (1) 第55回全日本中学生ホッケー選手権大会について・・・[香川県・愛媛県大会実行委員会より]
・「実施要項・競技日程等」「宿泊関係」「会場関係」について

T D馬場先生から開催地香川、愛媛県の各会場による共通事項等についての説明。

資料1

香川県実行委員会（川原さん）、愛媛県実行委員会（吉岡さん）から実施要項について説明。

実施要項

<確認事項について>

- 1日目、2日目の競技開始時間は9時30分。
- 3日目は10時から準決勝、12時から決勝を予定。
- 申込み締切（7月31日）時点でブロック大会が終了していないブロック（北信越、近畿）がある。
該当ブロックのチームは申込み締め切り前に全チーム申込みを行うこと。

・宿泊、弁当について

- キャンセルポリシーに関しては、男女同じになるように調整していただくよう要望。
- 夕食は弁当対応にはならないように手配済み。
- 宿泊業者から当日の宿泊はキャンセルされないように要望された。
- 保護者の宿泊についても別サイトにて斡旋を行うことが報告された。

*全中大会および11人制大会の宿泊についての留意事項

- ・大会期間中については、必ず大会事務局を通して宿泊申し込みをする。
- ・弁当については、以前より希望制としている。
- ・全中大会では大会初日（開会式の前）に公式練習を設ける。

<確認事項>

- ・JOC有望選手のトロフィーについては、U15カテゴリ一部会で準備。
- ・全中大会の手当者については、日本ホッケー協会に登録された者であること。

・各ブロック参加枠数の決定

内規事項に従い、各ブロック参加枠が以下のように決定。

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催地	優勝枠	合計
男子	0	3	4	3	2	4	3	1	2	1 香川	1 関東	24
女子	0	3	4	4	1	4	3	1	2	1 愛媛	1 東海	24

- ・全国大会シード権（組み合わせ抽選）及び決勝トーナメントの組み合わせ抽選の確認
全国大会のシード権について やり方：確認（シードが9チームの場合）
①前回の全中でベスト4に入った府県ブロックを先に分ける。
②その後、各ブロックのシード校をランダムに抽選する。但し、予選会を行わずに全中に参加をしている府県はシード扱いをしない。
よって、シードが9チームになった場合は、1つのブロックの中にシード校が2つの入る所ができる。

具体的には・・・開催地枠と今年度のベスト4に入ったブロックは、同ブロックにシードチームが2つ入らないように抽選をする。

令和6年度男子ベスト4 優勝：今市（関東）、準優勝：東原（関東）
3位：HC HYOGO HEARTS（近畿）、仁多（中国）

R7開催地枠 香川（四国）

令和6年度女子ベスト4 優勝：かかみがはらHC（東海）、準優勝：朝日（北信越）
3位：今市（関東）、横田（中国）

R7開催地枠 愛媛（四国）

上記結果により、令和7年度の男子については、開催地枠（北信越・四国）と関東ブロック、近畿ブロック、中国ブロックの1位の4チームについては、先に抽選を行い、この4チームについては同一ブロック内に入らないようにする。その後、他ブロックの1位を抽選する。女子も同様に行う。

・決勝トーナメントの組み合わせ抽選

令和5年度まで決勝トーナメントの組合せは、予選リーグの試合が全て終了した時点で抽選を行っていたが、令和6年度富山全中からは、事前に決勝トーナメントの組合せ表に入る。組み合わせ抽選はおこなわないことを確認。（R6.2.24）

・大会レギュレーションについて

登録人数を12名から15名に増やし、15名で試合ごとに12名の出場可能選手を選択する形としてはどうかという意見が出た。

令和7年度の全中大会は現状通り12名の登録で行うことを確認し、令和8年度以降の対応については、各ブロック、各チームの意見を集約し、令和7年度第1回常任委員会で再度協議することとした。

・令和7年度四国全中全国委員会の持ち方について

令和7年度の四国全中では監督会議が男女別会場になるため、全国委員会を監督会議前には行わないことを確認し、令和7年度全国委員会の持ち方について事務局に一任することが承認され、令和7年度第1回常任委員会で報告することを確認した。

(2) 令和7年度中学校部会役員(案)について

資料2

○会長・・・次年度全中大会開催地(香川県)のホッケー協会長にお願いする。

○副会長・・・令和8年度全中大会開催地にお願いする。

○常任委員、専門委員の交代について確認・・・基本は各ブロックに任せている。

次年度ブロック常任委員、専門委員を変更する場合は、旧常任委員で責任をもって5月の常任委員会までに事務局（徳光）に連絡をする。

資料2の案で承認される。

(3) U15カテゴリー一部会組織および全国大会内規事項等について・・・【事務局】

・U15カテゴリー一部会規約について

資料0

・全日本中学生ホッケー選手権大会内規事項について

資料3

○クラブチーム参加規程について

クラブチームの参加規程について協議を行い、以下のように変更された。（R6.2.24）

(2) ⑥ クラブチームの登録選手は、一旦提出された登録名簿から年度途中に選手がチームを変更することはできない。（少なくとも全国大会終了まではできない。）但し、新規登録はこの限りではない。※新規登録：どこのチームにも所属していなかったもの。

1. 全国大会参加資格について

- (2) ②クラブチームにあつては、日常継続的に代表者もしくは^{※2}指導資格を有する指導者の指導のもとに、活動が適切におこなわれていること。また、監督またはコーチのどちらかは^{※2}指導資格を有すること。

※2：JSP0（日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 コーチ3以上を有するもの）

この規程について、コーチ資格の緩和をしてもよいのではないかという意見があり、協議を行った。コーチ資格については、変更せず現状のまま運用していくことを確認したが、今後も継続的に審議していくことを共有した。

(4) クラブチームの参加を認めない場合

- ① 大会の申し込みに際して、参加条件に虚偽の内容が判明をした場合は参加を認めない。

この規程について、以下の変更が承認された。

(4) **クラブチームの参加を認めない場合**

- ① **大会の申し込みに際して、参加条件に虚偽の内容が判明をした場合は参加を認めない。**

3. 全国大会開催地の決定について

- (3) 日本ホッケー協会中学校部会事務局を中心に該当都道府県協会に依頼をする。

この規程について、以下の変更が承認された。

3. **全国大会開催地の決定について**

- (3) **日本ホッケー協会中学校U15 カテゴリー一部会事務局を中心に該当都道府県協会に依頼をする。**

・ 合同チームの規程について

資料4

【合同チーム編成条件】

- ① 学校長の承認は必要。・・・学校管理下による大会実施を守る。
② 必ず教員または部活動指導員による引率であること。
③ 合同チームとして認められる範囲（チーム数）は特に設けない。（R6.2.24 承認）
④ レンタルによる合同チームについては全中大会では認めない。

・ 拠点校部活動の参加についても第1回常任委員会の場で確認する。

資料5

・ 令和8年度以降の全中大会および開催地について

馬場先生から説明をいただく。

資料6

また、全中大会の開催地の負担が大きいことを全体で確認し、今後も継続的に開催地の負担軽減に向けて協議していくことを確認。

☆今後の全中開催地を決める際の共通理解事項

基本的には、担当ブロック内で開催地を検討し、開催が難しいようであれば、他のブロックで検討していく。その際、できなかったブロックは積極的に手をあげていただきたい。ただし早めに動いていただかなければ、どの市町村も手を上げにくい。（上げることが難しくなる）

- R5：四国ブロック→岡山県（中国ブロック）に変更
R6：北信越ブロック（富山県）
R7：九州ブロック→四国ブロックに変更（香川県：男子 愛媛県：女子）
R8：中国ブロック＜令和6年度中に全中開催地の内定を目指す。＞
R9：近畿ブロック、R10：関東ブロック、R11：東海ブロック

(4) U15 海外遠征について（担当：海外遠征事務局より）

【報告】

・ユースインターナショナル グリフォンカップ（2024／パース）

* JHA「事業計画」の競技力向上（強化）事業に掲げられた目標を具現化すべく、日本代表チームを編成しオーストラリア海外遠征を実施した。

* 大会成績

男子：6位（参加12チーム）、女子：2位（参加11チーム）

海外遠征事務局から以下の報告があった。

○今年度、直行便でオーストラリアに行くことになり、負担は軽減した。来年度も直行便を確保したい。

○今後も toto 助成を継続して申請していくことで選手・指導者の金銭面の負担を軽減させていきたい。

(5) エリートアカデミー、J-STAR、FTEM等について・・・・・・（担当：強化育成本部：馬場先生）
馬場先生から説明をいただく。 資料7

(6) 第26回都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会について・・・・・・（事務局）

11人制実行委員会代表（中学校部会競技部長 鈴木先生）から以下の報告がされた。

3年連続の大会実施となり、大変盛り上がった。令和4年度から、U15部会の中に11人制大会実行委員会を設置し、若手の先生方を中心に取り組んでいる。今後も地元福井県の負担軽減を図る工夫をしていき、持続可能な大会運営をしていくことを目指していく。

来年度以降の11人制大会について

開催時期：10月第4週土曜日・日曜日の開催を基本とする。

※但し、JHA主催の他競技大会との調整により前後することもある。

次年度の日程：令和7年10月25日（土）、26日（日）

※昨年度までJHAより120万円の補助であったが、今年度からTOTO助成金を申請して実施して頂いた。（192万円）

【11人制大会のルール（レギュレーション）について】

- ・参加資格について、出身地における出場ではなく、JHA登録チームの所在地で出場可能であることを確認した。
- ・GKなしのパワープレーの可否について協議した。各ブロック、各チームの意見を集約し、令和7年度第1回常任委員会で再度協議することとした。

(7) 令和6年度決算（中間報告）および事業報告について・・・（事務局、会計）

令和6年度「事業報告」～まとめ～ **資料8**、令和6年度「決算報告」～中間まとめ～ **資料9**を報告し、承認される。

(8) 令和7年度事業計画(案)・運営費予算(案)について・・・（事務局、会計）

令和7年度「事業計画(案)」 **資料10**、令和6年度「運営費予算(案)」 **資料11** について報告し、承認される。

(9) 競技部・審判部より・・・・・・・・・・（競技部：鈴木、審判部：尾木）

競技部、審判部より資料をもとに報告および確認がされた。 **資料12**

○アシスタントコーチを複数名おくことができるようになったが、u15部会では現状採用しないで今まで通りで運用していくことを確認。

○全中大会の行動規範確認書は要項に記載することを確認。

○フェイスマスクが義務化されることについて確認。

○「ヘアバンド・リストバンド」について規制をかけないことを確認。

○審判部からは、日本ホッケー協会ウェブページに掲載された『2025年度 ルール研修会資料（判定に関するケーススタディ含む）のお知らせ』を確認するよう報告がされた。

(10) その他

・合同チーム、拠点校部活動及びクラブチームに関する申請の確認および情報交換

<合同チーム申請の流れ>

4月にU15カテゴリー部会HPに「合同チーム申請書、拠点校部活動申請書」をアップする。

↓

・合同チーム、拠点校部活動の申請方法について

①合同チーム、拠点校部活動の申請をするチームは第1回常任委員会の10日前までに各ブロック常任委員に申請をする。（申請書のpdfでの提出締切）

②第1回常任委員会の1週間前までに各ブロックの常任委員はブロックの状況をまとめ、事務局に申請書のpdfをメールで送り報告する。

③合同チーム、拠点校部活動申請書原本は各ブロックの常任委員が常任委員会に持参する。

（※各チームは常任委員会（5月第4週目土曜日）までに常任委員に原本を送付すること。）

○公印の押された者を提出する。押されていないものは認めない。

↓

第1回目の常任委員会で確認・承認

<クラブチームに関する申請の流れ>

資料13・14 様式1・2・3

・令和7年度第1回常任委員会の日程・場所の確認

令和7年5月25日（日） 場所：YIC 京都工科自動車大学校（京都）

4 閉会

閉会にあたり、日本ホッケー協会 U15 カテゴリー一部会副会長式貴志（香川県ホッケー協会会長）様から閉会のご挨拶をいただき、会を閉じた。